

さくらの名所紹介

春を彩る“さくら”。山や公園は薄紅色に染まり春の訪れを感じさせてくれる季節、日野川流域の市町村にはたくさん名所があります。名前を聞けばさくらの名所として知られている場所や、地域の皆さんにしかあまり知られていない場所など色々ありますが、そんな名所の一部を今回、皆さんにご紹介します。



かいけ 皆生桜づつみ (米子市)

米子市の桜の名所といえば、湊山公園等が有名ですが、その他に米子市上福原の日野川沿いに皆生桜づつみがあります。堤防を下りると日野川運動広場があり、お花見の後は体を動かしてみるのもいいですね。

米子市



ごこびんりゅうもんじ 護国山龍門寺の枝垂れ桜 (会見町)

会見町役場から南(西伯町側)へ100メートル余り行くと真言宗の寺護国山龍門寺があります。その門前に樹齢100年といわれる枝垂れ桜があります。

春には垂れ下がった枝に一面の豪華な花をつけ、近所の人の憩いの場となっています。



法勝寺川の桜並木 (西伯町)

西伯町には、法勝寺川に沿って町のシンボルでもある桜並木があります。その距離約4km。3月下旬から少しづつ花が咲き始め、4月上旬には満開になる桜は圧巻です。加えてこの時期にはこの桜並木に沿ってポンボリが舞われるため、夜、その明かりに照らされた桜はとても美しく通りを歩く人々を楽しませてくれます。



西伯町



日南ふれあい会館の桜 (日南町)

日南町には桜の花畑が出来た大きな公園や、有名な桜の古木はありませんが、地域の人々にとても親しまれている「本の桜の木」があります。「日南ふれあい会館」の建設などでやむを得ず切られ、最後に残された「本桜」です。

春の4月初旬、毎年必ず特別に色濃く満開に咲くおぼとでも素晴らしい。この木の下でゲートボールを楽しむお年寄りらもとより、子どもから大人まで、みんなが花見を楽しんでいます。

日南町

蚊屋島神社 (日吉津村)

日吉津村内の名所のひとつは、蚊屋島神社(日吉津村日吉津)です。現在は石木にまわれまわりましたが、本来が築山みです。



ばんばら 番原公園 (岸本町)

岸本町の桜の名所といえば、やはり番原公園でしょうか。残雪の大山を背に桜が満開となります。地元手づくりの公園で楽しいひとときを…



写真提供/小台元神氏

しろやま 城山の桜 (江府町)

JR 江尾駅のそば、小高い丘の上の遺跡山に戦国時代の山城・江美城跡があります。4月上旬には城山一帯が桜の花で覆われ、歴史民俗資料館のある八幡丸地区は町民憩いの場となっています。城跡からは江尾の町並みや日野川の流れが一瞥に見渡せ、戦国武行達の夢のあとに思いを馳せることができます。

いずみ 鬼住山の桜 (溝口町)

鬼住山は、溝口町の東側に位置する山で、標高が128mあります。昔、鬼が住んでいたといわれ、溝口町の鬼住山の舞台となっている山です。また、西国八十八箇所霊場の一つであり、「神仏の宿る山」として大切にされてきました。また、山頂へ通じる遊歩道が整備され、桜の季節になると、多くの町民が散策に訪れます。



たきさん 滝山公園の桜 (日野町)

瀬田川の桜(ソメイヨシノ/約150本)が4月中旬から咲きはじり、その桜の散る頃から、公園内の約3万本のダイセンミツバツツシの樹生と八重桜が咲き始め、山全体がピンク色に染まるさまは、まさに圧巻。また、公園内の高さ70mの滝は、小泉八雲の小説『骨董』で「幽霊滝」として紹介されています。

